



開館記念展Ⅲ

「てくてく東海道―北斎と旅する五十三次―」を開催します。



■企画展趣旨／見どころ

知られざる名品を初公開！ 広重より約30年早く描かれた〈北斎の五十三次〉

〈東海道五十三次〉と言えば歌川広重が有名ですが、更にさかのぼること30年、葛飾北斎も、当時の絵師の中でも群を抜く、多数の〈東海道五十三次〉シリーズを手掛けています。風景を主とする広重とは違い、北斎は小さくてかわいらしいサイズの画面に、土地の風俗を多く描きました。当企画展では、北斎の〈東海道五十三次〉シリーズより、当館所蔵の「春興五十三駄之内」の貴重な初摺*一揃いを、初公開します(前後期で半数ずつ展示)。北斎の描いた東海道五十三次の世界を、シリーズ毎に展示するばかりではなく、トピックス毎に展示するなど、様々な角度からご紹介します。5つの構成からなる展示で【北斎ならではの】東海道五十三次の魅力をお楽しみいただけます。

※初摺(しよずり)とは

現代の出版物で言う初版のこと。摺られる際の版木の状態も一番良く、繊細に彫られた細かな表現まで摺り出される。色の指示など、下絵を描く絵師からの制作意図が一番反映されるといわれる。

■開催概要

展覧会名:開館記念展Ⅲ「てくてく東海道―北斎と旅する五十三次―」

会期:2017年4月18日(火)～6月11日(日)

前期・4月18日(火)～5月14日(日) 後期・5月16日(火)～6月11日(日)

※作品保護のため、前後期で一部展示替えを行います。

開館時間:9:30～17:30(入館は17:00まで)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



休館日：毎週月曜日

開館記念展Ⅲ 観覧料 AURORA（常設展示室）も観覧いただけます

	一般	高校生・大学生	65歳以上	中学生	障がい者
個人	1,000円	700円	700円	300円	300円
団体	800円	560円	560円	240円	240円

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで障がい者料金でご覧いただけます(入館の際は、身体障害者手帳などの提示をお願いします)。

※本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、常設展もご覧になれます。

主催：墨田区・すみだ北斎美術館

公式サイト：<http://hokusai-museum.jp/tekuteku/>

お問い合わせ：すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2 電話 03-5777-8600(ハローダイヤル)

■ 展示構成

1章 旅立ちの前に

菱川師宣「東海道分間絵図」(国立歴史民俗博物館蔵)、十返舎一九『東海道中膝栗毛』(東京大学総合図書館蔵)など、江戸の様々な浮世絵や文学作品を通して「東海道」が江戸の庶民に親しまれるようになったきっかけをご紹介します。

2章 北斎の名品 東海道シリーズ

すみだ北斎美術館所蔵の、北斎の東海道シリーズを展示します。他では所蔵を知られていない「春興五十三駄之内」の初摺の揃いは、特に必見です。

3章 北斎と旅する東海道

旅のグルメや名所、パワースポットなど、北斎がいろいろな切り口から描き出した「東海道五十三次」を、シリーズや宿駅にとらわれず、テーマ毎に分けて展示します。

4章 北斎と羽ばたく東海道

これまでの人物中心の東海道シリーズとは一転、北斎は、鳥の目線で江戸から京までの東海道の道のりを一図におさめた、とんでもない作品を作り出します。高いビルや飛行機などもなか



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



ったこの時代に描かれた、圧巻の鳥瞰図をご覧ください。

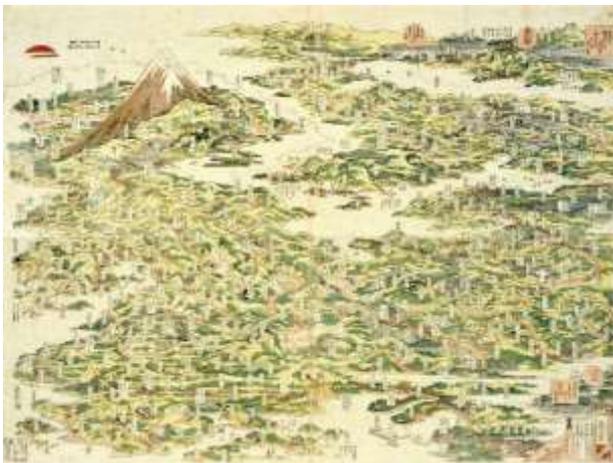
5章 その先の東海道

北斎の描いた東海道は、後の世までその形を変えて再び出版されており、現在知られている以上に、＜北斎の東海道＞が永く親しまれていたことが窺い知れます。北斎の弟子が描いた東海道の作品や、北斎の画風が影響を与えた作品を展示し、北斎の描いたその後をお楽しみいただきます。

■ 主な展示作品



2章 北斎の名品 東海道シリーズ「春興五十三駄之内 日本橋」(前期展示)



4章 北斎と羽ばたく東海道 「東海道名所一覽」(前期展示)
※後期には国立歴史民俗博物館所蔵作品を展示



3章 北斎と旅する東海道
「五十三次江都の往かい 袋井」(後期展示)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



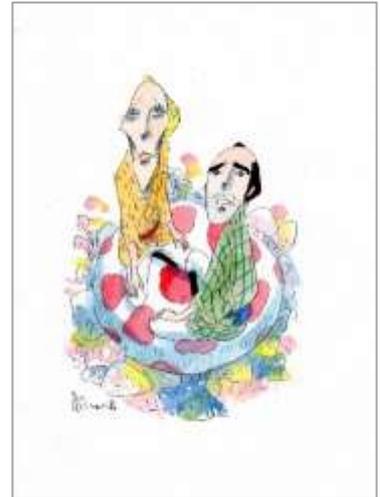
当館の魅力は、企画展とともに展開する、バラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など《つながる》に根差した連動企画にもあります。ゴールデンウィークの行楽や、家族イベントとしても楽しんでいただける企画をご紹介します。

■館内での企画連動展示

「東海道スピノフ！」東海道五十三次から派生した、あんな作品こんな作品のご紹介

場 所：3階ホワイエ(パネル展示)

3階のホワイエでは、「東海道スピノフ！」と題し、東海道五十三次が江戸当時から現代まで、歌舞伎となったり、美人画となったりと、さまざまな派生作品となったことを解説・展示します。「東海道」が日本人にとっていかにメジャーかを、多方面から理解することができます。ディープな世界に派生した代表としては、映画化もされた、しりあがり寿氏の漫画『真夜中の弥次さん喜多さん』も紹介しています。しりあがり寿氏には5月7日に MARUGEN100(当館講座室)でも東海道の魅力を語っていただきます。※以下の講演会の項を参照



■関連イベント・ゴールデンウィークイベント

各詳細は、ホームページを通じてお知らせします。

1.講演会 <事前申込み制>

テーマ：しりあがり寿の見る東海道の魅力(仮称)
講 師：しりあがり寿氏
場 所：MARUGEN100(当館講座室)
日 時：5月7日(日) 14時より1時間半程度
定 員：60名
料 金：無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

2.スライドトーク

テーマ：「てくてく東海道」展 見どころレクチャー
講 師：当館学芸員
場 所：MARUGEN100(当館講座室)
日 時：5月3日(水・祝)、5月20日(土) 各日とも14時より30分程度
定 員：60名
料 金：無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



3.落語の公演 <事前申込み制>

演 目:御神酒徳利

演 者:柳家海舟

場 所:MARUGEN100(当館講座室)

日 時:5月27日(土) 14時より50分程度

定 員:60名

料 金:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

4.トークフリーデー ～展示室内で声の大きさを気にせず、自由に鑑賞しながら作品についてお話ししても良い日です。

場 所:展示室内

日 時:5月5日(金・祝)、5月14日(日)、5月21日(日)、5月28日(日)、各日終日

5.巨大双六イベント <当日先着順> ～講座室の床に広げた巨大双六で、チーム対抗双六ゲームを開催します。

今回の企画展で展示されている北斎の五十三次作品をあしらい、自分がコマになって体感できる巨大双六をご用意しました。子供から大人まで、チームで楽しめるイベント企画となっています。<こどもの日>には、家族で五十三次の旅に出かけましょう!

場 所:MARUGEN100(当館講座室)

日 時:5月5日(金・祝) 13時30分から

料 金:無料



6.紙しばい

「北斎の生涯」を、子供たちにもわかりやすく、紙しばいで紹介します。

場 所:MARUGEN100(当館講座室)

日 時:5月4日(木・祝)、5月6日(土) 各日2～3回の公演予定

料 金:無料

○図書室やミュージアムショップとの連動

図書室では、立ち寄られた皆さまへ、北斎の東海道五十三次特製「旅人しおり」を差し上げる予定です。ミュージアムショップでも、巨大双六と同じ絵柄の『東海道五十三次北斎双六』を販売します。東海道五十三次に関連する、あらたな情報を見つけることができるかもしれません。来館の際には、ぜひお立ち寄りください。

※各詳細はホームページを通じてお知らせします。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■今後の企画展予定

◇2017年6月27日～8月20日

開館記念展Ⅳ「富士を描き分けた絵師 北斎 -富嶽三十六景と富嶽百景-(仮題)」

北斎といえば「富嶽三十六景」と言われるほど、富士山を描いた浮世絵は北斎の代表作となっている。他にも『富嶽百景』など、「富士の絵師」とも呼べる北斎によって表現された、さまざまな富士の姿を捉えようとする企画展。



「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」当館所蔵



「富嶽三十六景 凱風快晴」当館所蔵

◇2017年9月9日～10月22日

特別展 大ダルマ制作200年記念

「パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～」

文化14(1817)年に名古屋で行われた、北斎による120畳大の大ダルマを描く大パフォーマンス。江戸と名古屋、両都市のにぎわいに一役買った〈パフォーマー・北斎〉としての姿を紹介する。



「北斎大画即書引札」
名古屋市博物館蔵

◇2017年11月21日～2018年1月21日

企画展「北斎のめでたい神様大集合(仮題)」

北斎とその門人たちが描くおめでたい神様や縁起物を一堂に集め、美術館が迎える2年目の新年をにぎやかに寿ぐ、開館1周年記念の展覧会。

◇2018年2月14日～2018年4月8日

企画展「Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～(仮題)」

北斎は画風の変遷の中で、特徴的な美人画のスタイルを確立し、時流をとらえて多くの人々を魅了した。北斎や一門が描く、華やかな美人画の世界。

※今後も詳細が決まり次第、ご案内を行っていきます



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館